

令和4年度 60回生 授業概要(シラバス)

| | | | |
|---------|--|---------|---|
| 科目名 | フィジカルアセスメント | 分野/教育内容 | 専門分野/基礎看護学 |
| 開講年次・時期 | 1年前期 令和4年5月31日 | 単位数/時間 | 1単位/30時間 |
| 担当講師名 | 山本穰 | 所属・役職 | 専任教員 |
| | | 資格・免許 | 看護師 |
| 授業の概要 | 1. ヘルスアセスメントの意義と目的を理解し、必要とされる技術を学ぶ 2. 看護者自身の5感を使って対象を観察することの重要性を認識する 3. 人間を身体的・心理的・社会的に統合された存在として捉える重要性を認識する 4. 対象の健康問題を把握し、適切な援助につなげるためのアセスメントにつなげる技術、その中でも最も基本的なバイタルサイン測定 of 技術を習得する | | |
| 到達目標 | 1. フィジカルアセスメントの基本技術である診察の技法を習得する 2. バイタルサインの意義とその測定方法を理解する 3. 身体・心理・社会の3側面からアセスメントする必要性とその方法を理解する | | |
| 事前学習内容 | 解剖学Ⅰおよび生理学Ⅰで学習した内容を復習しておく(特に心血管系、呼吸器系) | | |
| 成績評価の方法 | 試験(100点) | | |
| 使用教科書 | 1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ (医学書院) 2. 看護技術プラクティス 第4版動画付き (学研メディカル秀潤社) 3. フィジカルアセスメントポケットBOOK (照林社) | | |
| 授業回数 | 授業概要(主な学習内容) | 授業形態 | 使用教科書以外の必要物品 |
| 第1回 | ヘルスアセスメントとは、問診 | 講義 | 聴診器 体温計(持っていれば) アナログ式の時計 アナログ式の時計 ペンライト |
| 第2・3回 | 診察の技術(視診、触診、聴診、打診) | | |
| 第4回 | バイタルサイン(体温) | | |
| 第5回 | バイタルサイン(脈拍) | | |
| 第6回 | バイタルサイン(呼吸、意識) | | |
| 第7回 | バイタルサイン(血圧) | 演習 | 聴診器 血圧計 聴診器 血圧計 アナログ式の時計 クリップボード |
| 第8回 | 血圧測定 | | |
| 第9回 | バイタルサイン測定 | | |
| 第10回 | 計測 | 講義 | |
| 第11・12回 | 系統的なフィジカルアセスメント | | |
| 第13・14回 | | 演習 | 聴診器、アナログ式の時計 |
| 第15回 | 心理的・社会的なアセスメント | 講義 | |
| 履修上の留意点 | 1. 演習形式の授業が多い。6月17日(金)以降の演習では実習着で臨んでもらう 2. 講義では動画の視聴がある場合があるが、睡魔に負けないように心身を整えておく 3. 教科書や看護技術プラクティスの本授業に関連するところに QR コードが掲載されている。事前に QR コードを読み取り、動画を視聴しておいても良い 4. 聴診器と血圧計は、本授業以後も臨地実習で使用するため、使用後はメンテナンスする習慣をつける 5. 聴診器や血圧計に不具合・故障が発生した時には、担任・副担任に相談し、基本的には購入元(県立宮古病院の地下1階にある「ケアテック」)に個人で修理依頼すること 6. 聴診器と血圧計同様に、アナログ式の時計も今後の臨地実習で使用する。腕時計でも吊り下げ式でも型は問わないので、事前に準備しておく | | |